

【大阪教育大学附属高等学校 平野校舎】

平野は、平野郷として知られ、江戸時代には連歌をはじめとする様々な庶民文化が生まれ育った街です。1972年4月、本校は今もなお当時の文化の薫りを残す平野の地に、大阪教育大学の三番目の附属高校として設立されました。一学年3クラスの小規模校だからこそ可能な取り組みを通じて、これまでに社会のリーダーとして活躍する5000人近く卒業生を輩出しました。

当校の特徴

◆ 少数精鋭

1学年3クラスという他校にない規模が本校の特徴です。この小規模校というメリットを存分に活かすことができるよう、生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導に努めています。生徒が個別に相談、質問しやすい環境をつくっています。

◆ 創造探究

本校ではディベートやプレゼンテーション、卒業生・社会人の方々の講義や大学での授業、さまざまな学校行事など幅広い学習・経験ができるカリキュラムが用意されています。

◆ 自主自立

大阪教育大学附属高等学校 平野校舎では「イベントを通して成長する」という言葉があります。学校行事は生徒が計画し運営します。生徒たちは様々な新しいアイデアを出しながら行事をより良いものに作り上げていきます。様々な体験を通して豊かな感性と行動力が涵養されることを大切にしていきます。

スーパーグローバルハイスクール プログラム

当校は、2015年4月、文部科学省に5年間の間スーパーグローバルハイスクールに指定されました。

スーパーグローバルハイスクールプログラムでは、生徒一人ひとりが課題研究に取り組みます。当校でのテーマは、「多面的に‘いのち’を考えるグローバルリーダーの育成」です。最も普遍的な価値を持つ‘いのち’を取り上げ、その中でも「いのちをつなぐ‘医療・保健’」「いのちを守る‘防災・減災’」「いのちを支える‘格差・貧困’」の三つの研究領域から選択した課題について、大阪並びにアジアをフィールドとした課題研究を行います。